

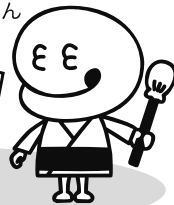
第16号

令和元年10月発行

西暦 2019
仏暦 2562
祖暦 797
皇暦 2679

木魚のぼっくん

はひふへ



ほんこうじ
本光寺

本光寺 検索 <https://www.honkouji.com>

日蓮宗法華道場 光胤山 本光寺 〒272-0805 千葉県市川市大野町 3-1695-1 / TEL 047-337-8324 / FAX 047-337-4400



こんにちは。本光寺 35 世住職の尾藤宏明です。
まず冒頭、台風で罹災された方に心からお悔やみを申し上げますと
ともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。合掌



《病即消滅の合掌鬼子母神》



《子授守護の子安鬼子母大善神》

さて、10月には日蓮宗にとって、大切な儀式があります。

ご承知の通り、本光寺の正式名称は「光胤山本光寺」で日蓮宗のお寺です。

日蓮宗の始祖「日蓮聖人」は10月13日に入滅されました。本光寺では1361年以来、約655年以上毎年儀式として「御会式（おえしき）」を行ってきました。

ちなみに本光寺の御会式は会費制で、「日蓮聖人の木札」



《安産守護の子安鬼子母大善神》

「御会式桜・五色餅」「供物」が授与されます。「御会式」は、「鬼子母神」をお祭りする儀式としても知られています。

本光寺の鬼子母神は4体勧請されています。「感応生鬼子母神」「病即消滅の合掌鬼子母神」「安産守護の子安鬼子母大善神」「子授守護の子安鬼子母大善神」です。

それぞれの鬼子母神にはご利益がありますので、お気軽に問い合わせください。

本光寺の仏神はまだまだ他にも勧請されています。皆さんの願いを、それぞれの仏神に届けるために、日々、ご祈願しています。

光胤山本光寺 35 世住職 尾藤宏明 合掌

◎住職に突撃インタビュー◎

突撃!

今回の「はひふへ本光寺」から、いろいろな作法を教えていただけるとのことですが、興味はあるものの、自分出来るか不安がありました。住職に単刀直入に聞いてみました。

またまた続けます



前回の「はひふへ本光寺」で、ご住職（以下 住）は、いろいろと作法の件を気にされていました。現在、私（以下 記）を含め、世間がお寺の作法に関して無知になっていると思います。今回から数回にわたり、お寺の作法などをご教授賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

住：お寺の作法は、昔から代々に伝わってきたものです。親から子供へ、子供から孫へ渡り伝承されました。文化の多様化や、生活様式の変化、核家族化などにより、昔の経験や作法が話される機会が減ってきています。テレビ・ラジオや SNS の普及により、「話す → 聞く → 行動する」という機会が減っていると感じています。その結果、お寺の作法について興味が薄れてきてしまったというのが現実ではないでしょうか。

記：私もお寺が身近にあるとは言えないですね。町や村にあるお寺は疎遠になりつつあると思います。ご住職は、その垣根を取り外したいと常日頃からおっしゃっていますが、今一度、そのお気持ちを聞かせてください。

住：お寺は葬式をする所、お墓参りをする所というイメー

ジが皆さんにはあると思います。そのイメージが、お寺と皆さんとを疎遠にさせている一因です。昔から寺子屋というように、お寺は学びの場であり、子供たちの遊び場でありました。核家族化や SNS の普及により、外で遊ぶという習慣がなくなってきて、ますますお寺とが身近な存在から縁遠い存在になってきました。お寺は、どなたでも、入ることができます。そこで、いろいろな仏神に巡り合い、また、人々の交流の場として、もっと身近な存在としてお寺を広めていきたいのが、私の思いです。本光寺の境内は24時間いつでも入ることができます。また、お子様の支援の場として開放しています。

記：今回の作法は「数珠」です。私にとっては、仏事の時に使うものでありますが、そんなに使用頻度がないので、数珠の作法があったことすら知りませんでした。ご住職から見れば、私の数珠の扱い方はとんでもない作法だったのかもしれないね（笑）。

住：（笑）皆さんがご存じないのは当たり前かもしれませんが。私のように毎日使うということではなく、何かの仏事があった時だけに使用するものですから覚えていないのも当然だと思います。今回から、皆さんに少しでも覚

えていただけるように、「はひふへ本光寺」に豆知識ではないですが、作法を紹介します。知らなかった方は、知識として学んでいただき、作法通りに行っていただければよいと思います。

記：今後、いろいろな作法を教えていただければ、もっとお寺に興味が出てくると思いますね。ご住職から何か皆さんに伝えたいことはありますか。

住：本光寺は、日々進化しています。昔からの檀家さんだけでなく、信者さんやファンの方々に、私の考え方・取り組み方をより理解していただくように努力している最中です。その中で、朝参り会の作法、参拝の作法などを知っていただければと思います。夢物語としての本光寺初詣三万人計画（笑）は、一人一人の方々の理解のもとに成り立つと思っています。

記：そうでした。初詣三万人計画は、三万人が参拝に来られた場合の警備体制やお寺の規模などを考慮して断念(?)されましたよね（笑）。「はひふへ本光寺」でも紹介させていただきましたが、「縁切寺」としての本光寺は徐々に浸透されてきましたね（笑）。

住：本光寺は、658年の歴史を持つ日蓮宗の由緒あるお寺です。例えば「慈愛の塔」などは、幕末から今まで、市川大野の平穏を願い建立された三重の宝塔ですし、本

堂前の石碑も昔から伝わっている石碑や板碑です。その歴史の中で、本光寺は現在まで発展してきました。市川の子育て支援企業の第一号や働き方改革に取り組むなど、現在の状況にも対応してきました。今後も、現在・未来に向かって進んでいくつもりです。今後ともよろしくお願いたします。



お数珠って何？

数珠は「誦数・誦珠・呪珠・念珠」とも書き、西暦2~3世紀のころから使われたといわれています。もともと念誦の数を数える「数取り」の道具でしたが、これを用いると、悪心をおさえ、すべての煩惱を滅除し、このうえない功德が得られるという大切な法具です。

持ち方

普段は図のように数珠を二重にして房を下にし、左手に掛けて持ちます。

合掌をしたり、お経本を持つのに便利です。

また、お勤めや儀式以外では、数珠を二重にして左手首に掛けることもあります。勧請・唱題・回向というお参りのうちで最も大切なときに



は、親珠を両方の中指の第一関節に、数珠を一度ねじってから（あやにする）そのまま両手を自然に合わせます。数珠の房は2つ房のほうを右手に、3つ房が左手にくるようにします。数珠をこすって音を出しながら拝んだり、首に掛けるのはやめましょう。



切り取って本光寺までお持ちください。御宝前にて読み上げた後、ご奉納させていただきます。

ちよこつと
写経

願
い
の
し
り

南無妙法蓮華經

令和
年
月
日

氏名

謹書



◆ 会員数 ◆ (令和元年9月30日現在)

護持会会員 198人

檀家会員：185人 水子会員：251人
永代会員：723人 ペット会員：130人

◆ ぼらん寺 ボランティア・清掃奉仕活動 ◆

(令和元年8月1日～令和元年9月30日)

8月4日

●澤村様 (船橋市)

8月10日

●澤村様 (船橋市)
●トゥ ハート・ペットセレモニー (社長)

8月13日

●宮田様 (流山市、中学生)
●片倉様 (野田市、中学生)

8月14日

●高石様 (横浜市、中学生・父親)

8月18日

●(株)ファミリーライフ (社長・社員1名)

8月24日

●澤村様 (船橋市)

8月30日

●一色様 (江東区、高校生)

9月1日

●澤村様 (船橋市)

9月23日

●トゥ ハート・ペットセレモニー (社長・副社長)

9月27日

●(株)石のあすか (社長ほか1名)

9月28日

●澤村様 (船橋市)

毎週日曜日

●実谷様 (市川市)

本光寺から皆様へお願い

①駐車場

「迷惑駐車」の解消と、お子様連れの参拝者などの安全を守るため、駐車スペースを減らしました。土日祝日、午前11時～午後3時は満車となります。時間帯をずらすか、公共交通機関での来山をお願いします。

②樹木葬リニューアル

大好評につき樹木葬墓地の新区画が完成しました。

リニューアルの工事期間中、参詣者の皆様にはご不便ご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。